

## 1 開会あいさつ（会長）

## 2 議 事

### （1）令和6年度公民館主要行事実施予定について（資料1、別添1.2）

夏祭り、運動会、公民館祭、公民館大学、公民館講座について

（意見）フレイル関係が多かったり、自分で手を動かしたりというものが人気のようだ。

#### ●運動会について

（質問）運動会の時期について、春にしている館があるが、どのようなメリットがあるか？

（回答）気候の関係や、秋の文化系のイベントの関係、又は学校の運動会との関係など地区毎に判断されている。

#### ●公民館講座について

（意見）歴史学講座として米子城関係の講座を受けたが、子どもたちにぜひとも知ってもらって郷土愛を深めてほしいと思った。その他の館でも是非やっていただきたい。

（質問）公民館の館外学習は公民館によって人が集まりにくかったりする所もある。別の講座にまわすことも出来ないか？

（回答）可能である。委託内容で必ず館外学習を入れるような指示は指定していない。地区毎に考えて実施していることと思う。

#### ●その他

（質問）市の職員などが地域に出向いてする講座が少ないのではないか

（回答）市の制度や取組などは出前講座として依頼があれば行なっている。直近では空家に関する講座の開催の依頼などが例月の館長会で行なわれました。

### （2）公民館に関する取組について（資料2～7）

（内容）

#### （2）公民館に関する取組について

##### ①地域防災力の向上 全公民館への要支援者名簿の配備

質問等なし

##### ②公民館保険について

（説明）本年度から公民館保険に全29館が加入した。これまでより公民館活動が安心して活動出来るように、以前の市の賠償保険制度ではカバーできなかった同好会やサークル利用者がカバー出来るようになった。熱中症や食中毒にも対応出来るようになった。

##### ③子ども関連

（説明）各公民館では子どもの参加を重視している。これまでも子ども関連事業は実施してきたが、今年度新規に事業拡大している館もみられる。地区によって様々な講座を展開

しており、公民館を支援しながらそのような活動を応援している。

・コミュニティースクール関係

(説明) 令和6年度からは、市内全学校で学校運営協議会が立ち上がった。新たな取り組みで、地域の方も期待していると伺っている。

公民館としても若年層の利用者の拡大、地域における活動の活性化、この目的のために連携して活動することが有効であると考えている。また、コミュニティースクールの仕組みを活用し、活動を活発化したいと考えている。

各公民館長がメンバーの一員として学校運営協議会に参加している。公民館の職員に対してコミュニティースクールとはどういったものか、必要性などを研修を実施した。

・人事評価

(説明) 求められる職員像について説明

人事評価のながれについて説明

体制整備のうちの一部として整えた。現在も実施中。

公民館を拠点とした地域づくり

公民館を拠点とした地域づくりのイメージ図を説明

・広報活動

(意見) ホームページについてだが、許可権限の関係で、行事中止などの情報の掲載が遅れる。活用がしにくい。以前はそのままできていたが代替手段等そのあたりの改善をしてほしい。

(回答) ホームページについては、現在地域振興課の承認がある。公民館独自でできないので、この件については引き続き検討する

(意見) コミュニティースクールの公民館における進捗具合は？

(質問) 先日行なわれた視察も館長の出席が少ないように思った。位置づけをしているのならはっきりしてほしい。

(回答) 先発して実施している地区と新たに始まった地区では進捗状況に違いがあり、これまで行っている既存活動をベースに地域との関係性を踏まえて活発化させてもらいたい。研修に関しても参加を案内をしていく。府中の視察については視察先の都合に合わせなければならない、日程が合わず参加が難しい場合もあった。

(質問) 視察研修、内容等を館長会で報告されるといいと思う。

(意見) 各地区で活動内容などを考えるにあたりいろいろ選択肢があるといいと思う。知識がないとやりにくいので、研修の充実をしてほしい。

館長などが研修にいかれたら、運営協議会の会の中でそのことを活かしてもらって先を見据えてリードして欲しいと思う。

(回答) 非常に有意義で刺激のある視察であった。感想等参加者の意見等を皆さんと共有出来れば良いと思う。館長へまとめてお伝えしたい。

(意見) 人事評価についてはどこの公民館も館長がしっかりやっておられると思う。うまくまわっていったらいいと思います。

(質問) 公民館を拠点とした地域づくりだが、今後、買い物に行けない、病気にかかっておられ、一人で出来ない人が増える。そういうことを誰がどうするのか。公民館に行けば相談先をつないでくれるのか

(回答) 公民館も今までも包括や地域振興課、地域活動支援員に繋がっていたかと思うが、これに加え福祉の事も地域福祉活動支援員というつなぐ先が増えたという形で考えている。

(意見) 地域との連携が大事。主任児童委員や民生委員も公民館と繋がっている。おとしより、こども、家庭などそういうのも大事していきながらして行ってほしい。

(質疑)

公民館職員の人事評価で、館長は誰が評価を見ているか。

(回答) 担当課である地域振興課の担当課長補佐と課長で実施する。

(意見) HPのリニューアルについて、公民館大学の年度の計画がすぐに載っていなかった。迅速に対応されていなかったと思う。

(回答) まだ操作になれない部分もあったのかもしれない。また、予定などは掲載の段階で詳細が決まっていない場合もある。

(意見) 子ども向けの体験教室で出来上がった作品を公民館祭展示後に渡しているが、夏休みに作ったものとして子どもは期待していたのではないか。大人の事情でやっているのではないかと思う。

((意見) 公民館職員の対応が丁寧で、ボランティアで行っても、暖かく迎えてもらってありがたいと感じている。地域の方と密接にかかわりながらやっていくという体制が出来ている。

一例としては、フレイルと防災の講座を合体して実施し、参加すると防災グッズがひとつづ

つもらえ集めると防災バッグの中にいろいろなものがそろうというような仕掛けをしていて参加者も前年より増えて大盛況である。

リモートの運動やおしゃべり、防災も出来るというような計画を職員がやってくさっている。

職員の段取りのおかげでそのような取り組みがスムーズであり、雰囲気がよく、地域の人もその雰囲気で参加に繋がっている。うれしくありがたく思う。

(意見) 資料7の社会共生のまちづくりについてご説明いただきたい。

(回答) 地域共生のまちづくりについては市のサービスと住民の現在の地域が持っている住民同士のつながりが継続的な活動を行なっていくと考えている。地域が持つ良い特性をつなげるために、日ごろからつながりを持っておいてもらって、うまく助け合いが続くようにと思っています。このようなイメージで市の部局も連携していくということです。

(意見) 子どもをまちづくりの委員として募集するのはどうか。

(回答) 本年度米子市全体のまちづくりビジョンの改定がある。ここで若い人の意見をもらう事は大事な事だと思う。高校生などの意見を取り入れることにしている。

委員に就任という形ではないかもしれないが、若者の意見を積極的にしっかりと反映出来るように取り組んでいるところだ。